

木津川市

1 地域の現状分析

1.1 背景

➤ 統計

指標	木津川市	京都府
総人口（R4 住民基本台帳人口）	79,707 人	2,511,494 人
日本人人口（R4 住民基本台帳人口）	79,037 人	2,453,860 人
出生率（R4 人口動態調査）	7.3‰	6.1‰
合計特殊出生率（H30～R4 ベイズ推計値）	1.54	1.25
高齢化率（R4 65 歳以上の者の割合）	24.8%	29.5%
前期高齢者割合（65～74 歳の者の割合）	13.1%	13.9%
後期高齢者割合（75 歳以上の者の割合）	11.7%	15.6%
死亡率（R4 人口動態調査）	8.6‰	12.8‰
平均寿命（0 歳時平均余命）[95%CI]	男性：84.1 年 [83.0, 85.2] 女性：88.7 年 [87.8, 89.6]	男性：81.5 年 [81.2, 81.7] 女性：87.4 年 [87.2, 87.6]
健康寿命（日常生活に制限のない期間の平均）[95%CI]	—	男性：72.1 年 [71.3, 73.0] 女性：75.8 年 [74.9, 76.7]
平均自立期間（要介護度 1 以下の期間の平均）[95%CI]	男性：82.2 年 [81.1, 83.2] 女性：84.8 年 [84.0, 85.6]	男性：79.7 年 [79.5, 79.9] 女性：83.7 年 [83.6, 83.9]
医療保険加入者数（R4 市町村国保＋けんぽ）	25,764 人	1,158,432 人
特定健診対象者数（40～74 歳の加入者数）	17,861 人	776,296 人
特定健診実施率 R4 市町村国保＋けんぽ	42.0%	39.8%
がん検診受診率（R4 市区町村実施分）		
肺がん	10.6%	3.0%
大腸がん	11.6%	4.1%
胃がん	10.4%	2.7%
子宮頸がん	21.0%	11.7%
乳がん	21.8%	12.2%

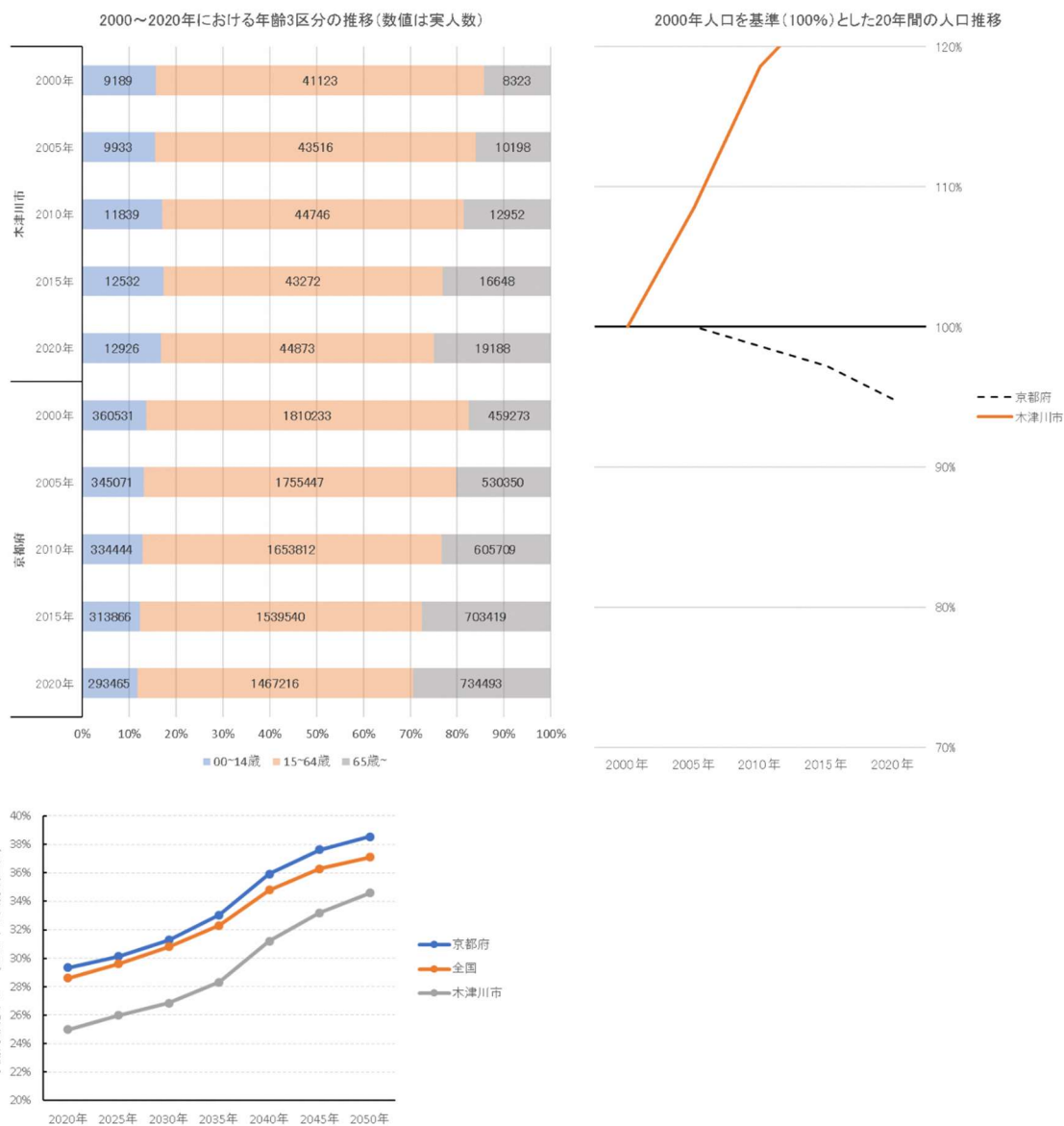
[出典]人口・高齢化率：令和 4 年住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査、年間出生数・死亡者数：令和 4 年人口動態調査、合計特殊出生率：人口動態統計特殊報告（平成 30～令和 4 年人口動態保健所・市区町村別統計）、平均寿命・平均自立期間：国保データベース（KDB）システムによる算出値（令和 4 年値）、健康寿命：第 4 回 健康日本 21（第三次）推進専門委員会（令和 6 年 12 月 24 日開催）資料 1－1、都道府県別健康寿命（2010～2019 年）（令和 3 年度分担研究報告書の付表）、医療保険加入者・対象者数・特定健診実施率：京都府健診・医療・介護総合データベース（令和 4 年度値）、がん検診受診率：令和 4 年度地域保健・健康増進事業報告

- ※ 協会けんぽの医療保険加入者数は、協会けんぽ京都支部加入者の内、郵便番号から居住市町村名が判明している者のみ集計した。また、資格取得・喪失状況を加味した上で月ごとの加入者数を 1 年分足し合わせた後に 12 で除した値（月平均）を利用した
- ※ 特定健診実施率とは、特定健診対象者のうち、平成 30 年「特定健康診査・特定保健指導の実施状況の集計方法等について」別添 1にある検査・測定項目を実施した受診者の割合のことである
- ※ 京都府の胃及び乳がん検診受診率は、京都市の 2 年連続受診者数を全国値より推計し京都市を含めて新たに算出した値である

➤ 経年推移

木津川市の人口は合併時（平成 19 年）の 66,490 人から増加を続け、令和 4 年には 80,000 人を超えた。しかし、その後は横ばいから減少に転じる傾向がみられ、令和 5 年度末では、79,528 人となっている。

年齢 3 区分の人口推移では、15 歳未満の人口は令和 2 年度をピークに減少傾向で、15 歳から 64 歳の生産年齢は横ばい状態である。65 歳以上の高齢者人口は増加を続け、令和 5 年度の高齢化率は、25.3%となっている。高齢化率は全国や京都府と比べると低いが推移は全国同様に上昇している。



➤ 市/町/村の特徴

木津川市は、京都府最南端に位置し、創造的な学術・研究の振興を行い、新産業・文化などの発信の拠点となる関西文化学術研究都市の中核を担う都市として発展した。また、奈良時代には日本の首都である恭仁京が置かれるなど、豊かな歴史・自然環境に恵まれた都市である。京阪都市圏の大都市である大阪市や京都市には近く、また日常生活圏としては奈良市とも隣接していることなどの地の利の良さもあり、人口は増加してきた。ニュータウンの開発も終わり、人口の増加も一定落ち着きを見せている。

1.2 生活習慣

特定健診受診率は京都府の平均よりも高い。がん検診受診率は、京都府平均よりも肺がん・大腸がん・胃がんにおいて高い。子宮頸がん・乳がんは個別健診のみの受診率となる。

➤ 特定健診質問票項目

特定健診の質問票においては、京都府と比較して、男性は、体重増加、毎日間食している人の割合が高かった。女性は、体重増加、毎日間食している人の割合が高い。

木津川市		項目	男	女
男性	1	現在喫煙	0.89	0.65
	2	体重増加	1.01	1.02
	3	運動なし	0.92	0.95
	4	歩行なし	0.97	1.00
女性	5	就寝前食事	0.92	0.79
	6	毎日間食	1.08	1.04
	7	朝血色	0.82	0.96
	8	飲酒頻度	0.93	0.85

[出典]京都府健診・医療・介護総合データベース（令和4年）

➤ 府民健康・栄養調査結果

No	項目		京都府	山城南保健所	木津川市
1	喫煙率	%	13.2	15.7	16.2
		n	474/3,578	72/460	18/111
2	肥満者割合(BMI ≥ 25.0)	%	20.9	23.3	20.6
		n	727/3,486	104/446	22/107
3	運動習慣あり	%	27.6	20.1	18
		n	977/3,537	91/452	20/111
4	歩数(平均)	歩	5,889	6,218	6,553
		n	1490	165	38
5	食塩摂取量(平均)	g	10.9	11.5	11.3
		n	3,572	455	109
6	野菜摂取量(平均)	g	234.1	240	246.2
		n	3,572	455	109
7	漬物摂取量(平均)	g	17.5	22.2	21.1
		n	3572	455	109
8	主食・主菜・副菜が1日2回以上揃う日が	%	40.8	43.4	45.5
		n	1,473/3,610	201/463	51/112
9	低栄養傾向の高齢者の割合	%	21	21	16.9
		n	358/1704	57/271	10/59
10	フレイルという言葉を知らない者の割合	%	69.9	71.9	68.5
		n	2,489/3,561	330/459	74/108

京都府と比較し、喫煙率、肥満者割合が高い。また運動習慣ありの割合が少ない。さらに食塩摂取量が高く、漬物の摂取量やフレイルという言葉を知らない者の割合はやや多い傾向である。

[出典]令和4年国民健康・栄養調査 結果概要

※京都府と比較し、No1, 2, 5, 7, 9, 10 については数値が上回っている項目、No3, 4, 6, 8 については数値が下回っている項目のセルに色付けをした。
※「低栄養傾向の高齢者」とは65歳以上でBMI20未満とした。

1.3 健診有所見

➤ リスク該当の割合

特定健診の結果においては、京都府全体と比較して男性では6項目すべて、女性は、血圧以外のすべてにおいてリスクの値が高い人が多かった。

木津川市		項目	男		女	
			SPR	該当割合%	SPR	該当割合%
男性		1.肥満	1.07	57	1.06	23.5
		2.メタボ	1.06	28.6	1.01	8.8
女性		3.メタボ予備群	1.09	19.6	1.21	6.3
		4.血圧	1.01	62.6	1.00	51
	1 2 3 4 5 6	5.脂質	1.05	42.5	1.07	36.7
		6.血糖	1.02	27.5	1.01	18.1

[出典]京都府健診・医療・介護総合データベース（令和4年）

1.4 生活習慣病（がん除く）

➤ 服薬の有無

服薬状況では、京都府と比較して、女性の降圧薬以外は、男女ともに各項目において服薬している人が多い。

	木津川市	項目	男		女	
			SPR	該当割合%	SPR	該当割合%
男性		1.降圧薬	1.03	33.1	1	24.3
女性		2.脂質異常症治療薬	1.19	23.2	1.12	28.8
	1 2 3	3.糖尿病治療薬 (インスリン含)	1.14	10.5	1.03	4.6

[出典]

京都府健診・医療・介護総合

データベース（令和4年）

➤ 受療状況

生活習慣病の受療状況（標準化受療者数比）をみると、京都府基準（上グラフ）と比較して3項目とも男女ともに受療割合が高い。国基準（下グラフ）と比較すると女性で糖尿病、男女で脂質異常症の受療割合が高くなっている。

府基準

京都府健診・医療・介護総合

データベース（令和4年）

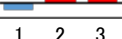
	木津川市	項目	男	女
男性		1. 高血圧	1.06	1.07
女性		2. 脂質異常症	1.14	1.13
	1 2 3	3. 糖尿病	1.15	1.17

国基準

[出典]京都府健診・医療・介護総合デ

ータベース（令和2年）、令和2年患者

調査、令和2年国勢調査

	木津川市	項目	男	女
男性		1. 高血圧	0.86	0.88
女性		2. 脂質異常症	1.40	1.39
	1 2 3	3. 糖尿病	0.96	1.11

1.5 重症化・がん

➤ 受療状況

がんや重症化した生活習慣病の受療状況（標準化受療者数比）をみると、京都府基準や国基準と比較して、男女ともに胃がんが高くなっている。

府基準

京都府健診・医療・介護総合

データベース（令和4年）

	木津川市
男性	
女性	
	1 2 3 4 5 6

項目	男	女
1. 胃がん	1.01	1.09
2. 大腸がん	0.83	0.91
3. 肺がん	0.92	0.90
4. 虚血性心疾患	1.01	1.01
5. 脳梗塞	1.05	1.01
6. 脳血管疾患 (脳梗塞以外)	0.87	0.86

国基準

[出典]京都府健診・医療・介護総合デ

ータベース（令和2年）、令和2年患者

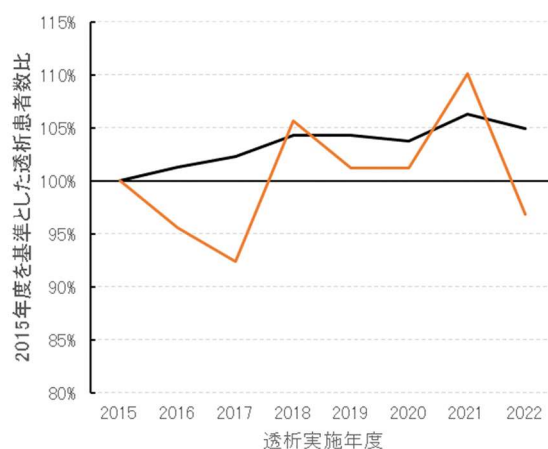
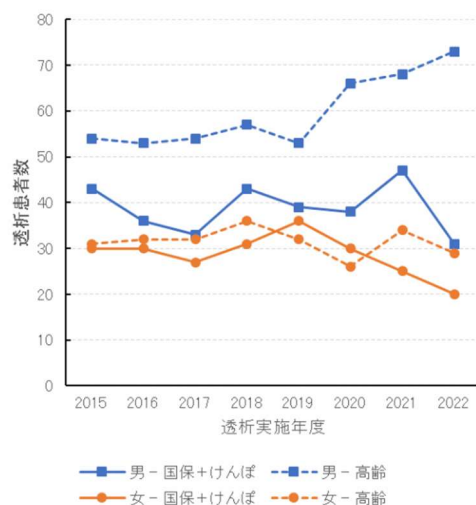
調査、令和2年国勢調査

	木津川市
男性	
女性	
	1 2 3 4 5 6

項目	男	女
1. 胃がん	1.13	1.07
2. 大腸がん	0.79	0.60
3. 肺がん	0.89	0.75
4. 虚血性心疾患	0.89	1.01
5. 脳梗塞	1.00	0.96
6. 脳血管疾患 (脳梗塞以外)	0.75	0.81

➤ 透析実施状況

透析患者数は後期高齢の男性の割合が高い。国保+けんぽは男女ともに減少傾向にある。



	男		女	
	高齢	国保+けんぽ	高齢	国保+けんぽ
2015	54	43	31	30
2016	53	36	32	30
2017	54	33	32	27
2018	57	43	36	31
2019	53	39	32	36
2020	66	38	26	30
2021	68	47	34	25
2022	73	31	29	20

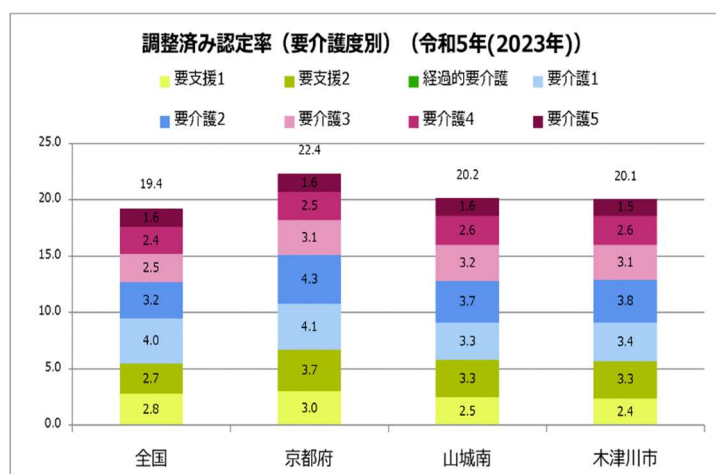
[出典] 京都府健診・医療・介護総合データベース（平成27年度～令和4年度）

- ※ 透析患者を「人工腎臓または腹膜灌流のレセプトが発生している者」と定義して集計
- ※ 左上図の国保は市町村国保を表す（府データベースに国保組合加入者の居住地情報が存在しないため国保組合を含まない）
- ※ 右上図は国保（国保組合除く）+協会けんぽ+後期高齢の3保険における2015年度を基準にした市町村ごとの患者数比を図示

1.6 介護・死亡

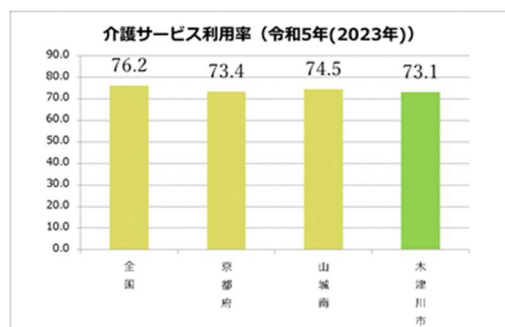
➤ 介護

認定者の割合を全国・京都府全体と比較すると、要支援1～要介護2・5の割合が低く、要介護3は同程度、要介護4は高くなっている。受給率は全国、京都府、山城南管内と比較し、いずれのサービスも比較的低くなっている。



在宅・居住・施設サービスの受給率（単位：％）

	全国	京都府	山城南	木津川市
在宅サービス	10.5	12.6	10.4	9.8
居住系サービス	1.4	1.1	0.7	0.9
施設サービス	2.9	3.1	2.6	2.3



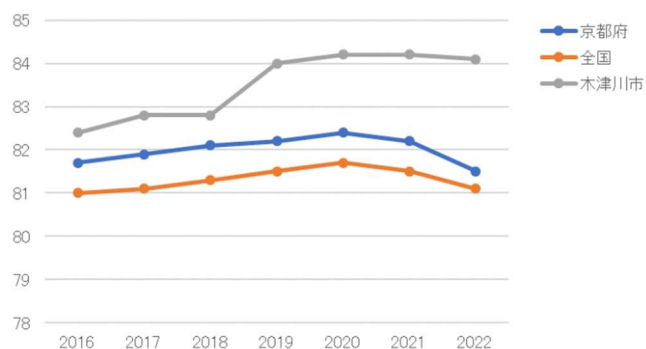
（時点）令和5年（2023年）

（出典）厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和4、5年度のみ）
「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

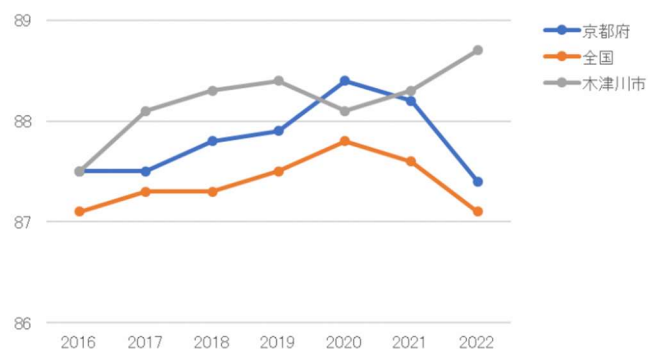
➤ 平均寿命と平均自立期間

男女ともに、平均寿命、平均自立期間共に延伸しており、府平均や国平均よりも高くなっている。

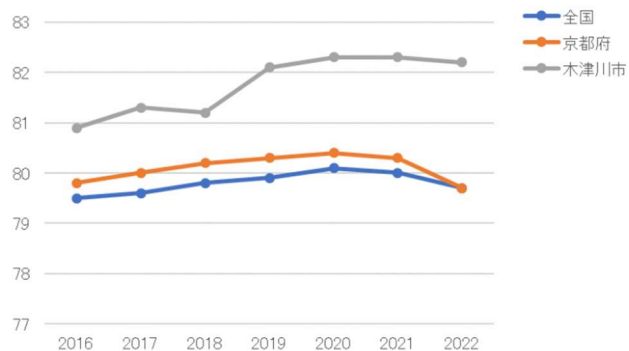
男性・平均寿命の推移



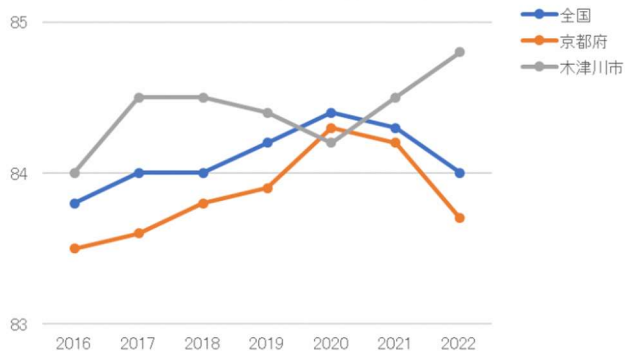
女性・平均寿命の推移



男性・平均自立期間の推移



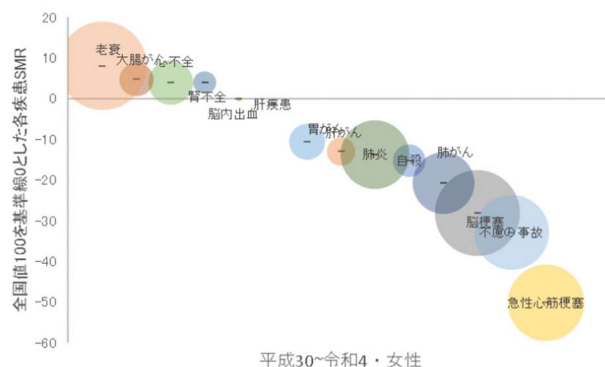
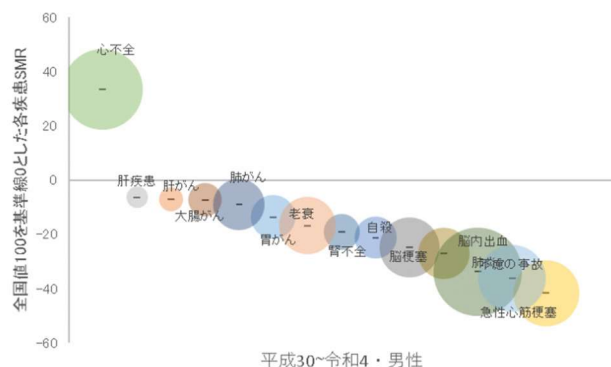
女性・平均自立期間の推移



[出典] 平均寿命・平均自立期間：国保データベース（KDB）システムによる算出値（平成28～令和4年値）

➤ SMR（標準化死亡比）

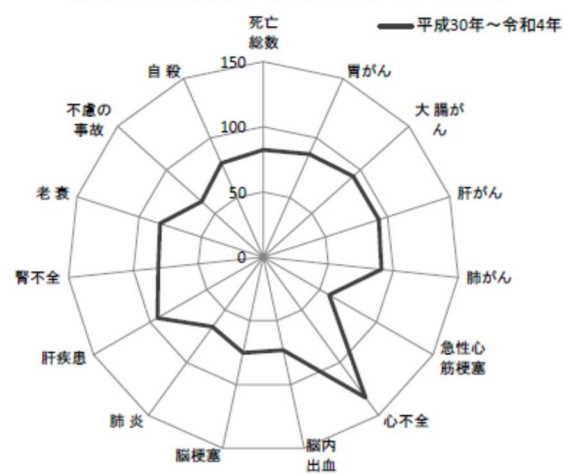
SMR の順位について、男性では心不全、肝疾患、肝がん、大腸がん、肺がんの順に多く、全国と比較すると心不全が高くなっている。女性では老衰、大腸がん、心不全、腎不全、脳内出血の順に多くなっており、全国と比較すると、大腸がん、心不全、脳内出血、肝疾患、腎不全、老衰が高くなっている。



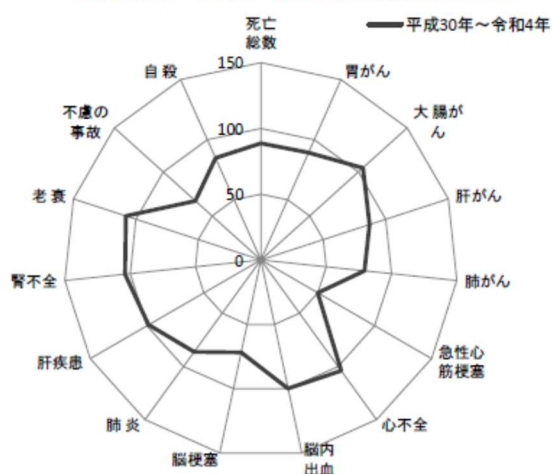
	男性		
	SMR降順位	SMR差	絶対死亡数差
胃がん	6	-13.6	8.97
肝がん	3	-7.1	2.75
肝疾患	2	-6.4	2.12
急性心筋梗塞	14	-41.7	20.03
自殺	9	-21.2	8.07
心不全	1	33.3	29.48
腎不全	8	-19	5.86
大腸がん	4	-7.3	5.2
脳梗塞	10	-24.9	16.25
脳内出血	11	-27	11.84
肺がん	5	-9.1	12.01
肺炎	12	-33.8	35.23
不慮の事故	13	-36.3	20.51
老衰	7	-16.8	14.74

	女性		
	SMR降順位	SMR差	絶対死亡数差
胃がん	7	-10.7	3.35
肝がん	8	-13	2.09
肝疾患	6	-1.4	0.24
急性心筋梗塞	14	-50.1	15.06
自殺	10	-15.2	2.69
心不全	3	4	5.12
腎不全	4	3.9	1.31
大腸がん	2	4.7	3.01
脳梗塞	12	-28.1	18.76
脳内出血	5	-0.1	0.04
肺がん	11	-20.7	9.66
肺炎	9	-13.7	12.22
不慮の事故	13	-32.9	14.22
老衰	1	8	20

木津川市 男性 標準化死亡比(SMR)



木津川市 女性 標準化死亡比(SMR)



〔出典〕人口動態統計特殊報告（人口動態保健所・市町村別統計）

令和6年4月19日厚生労働省公表 標準化死亡比平成30年~令和4年（ペイズ推定比）

2 地域健康課題と対応策

2.1 がん検診、特定健診受診率、特定保健指導実施率向上対策

- ・特に若い世代への特定健康診査・がん検診クーポン事業の受診勧奨
- ・第3期国民健康保険データヘルス計画及び第4期国民健康保険特定健康診査等実施計画の実行
- ・特定健康診査の受診勧奨

2.2 健診異常値放置者への受診勧奨

- ・糖尿病や脂質異常症、高血圧症等の生活習慣病重症化予防をするため、健診異常値放置者への受診勧奨の強化

2.3 糖尿病性腎症重症化予防

- ・糖尿病性腎症重症化予防事業の強化

2.4 高齢者の保健事業と介護予防との一体的な実施事業

- ・地域での仲間づくり、生きがいつくり介護予防につなげるための啓発活動
- ・高齢者の保健事業と介護予防との一体的な実施事業の充実（通いの場での講話・実践・健康相談、健康状態不明者の実態把握、支援の実施等）

2.5 健康教育・健康相談事業

- ・第2次すこやか木津川21プラン～健康増進計画・食育推進計画～の策定
- ・地域の健康課題に応じた健康教育・健康相談事業の実施
- ・こころの相談

3 実施している事業

3.1 国民健康保険・後期高齢者医療保険等

- ・特定健康診査、人間ドック、特定保健指導
- ・健康教室：40歳以上の国民健康保険被保険者を対象に、健康教室・運動教室を実施
- ・健康教育・相談：国民健康保険被保険者及び後期高齢者医療保険被保険者を対象に健康教育・相談事業を実施
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施事業について、生活習慣病重症化予防（糖尿病性腎症重症化予防）を40歳以上の国民健康保険被保険者から後期高齢者医療保険被保険者へ移行後も継続して事業を実施
- ・後期高齢者歯科健康診査

3.2 介護保険等

- ・介護予防サポーター養成講座、介護予防サポーターによる元気アップ体操教室
- ・住民啓発講演会（医師や介護専門職等）―在宅医療・介護連携推進事業の一環
- ・認知症サポーター養成講座、認知症カフェ事業、高齢者SOSネットワーク事業

- ・地域リハビリテーション活動支援事業

3.3 保健予防等

○母子保健事業

- ・こども家庭センター「宝箱」にて妊娠期から子育て期の相談
- ・マタニティ広場、産後ケア、産後ヨガ、妊産婦健診
- ・乳児訪問、離乳食教室、乳幼児健診・相談
- ・こどもの発達相談

○成人保健事業

- ・がん検診（乳がん・子宮がん検診クーポン事業を含む）
- ・歯周疾患検診、肝炎ウイルス検診、生活保護受給者健診、骨粗しょう症検診
- ・第2次すこやか木津川21プラン～健康増進計画・食育推進計画～の策定及び、計画に基づく、口腔衛生・禁煙の普及啓発、食育関連事業
- ・健康教育、健康相談事業
- ・食生活改善推進員育成事業
- ・精神保健事業
- ・予防接種事業

3.4 ソーシャルキャピタルの養成と活動支援

- ・食生活改善推進員 42 名（令和 6 年 4 月現在）
- ・老人クラブ加入者 83 クラブ、2,989 人（令和 6 年 4 月現在）
- ・認知症キャラバン・メイト数 123 名（令和 6 年 9 月末現在）
- ・認知症サポーター数 11,285 名（平成 19 年～令和 6 年 9 月末まで）

4 地域の現状と健康課題まとめ

別紙フロー図参照

木津川市の健康寿命に影響を及ぼす健康課題と取組みの方向性（令和5年時点）

